

平成 30 年

佐倉市総合計画策定のための
千葉敬愛短期大学の学生による
ワークショップ報告書

平成 30 年 12 月
佐倉市

【 はじめに 】

少子高齢化の進展が見込まれる佐倉市において、社会増減を増やす取組みは、今後益々重要性を増して行くものと思われます。特に、20代は転出超過となっており、若者に選ばれるまちを目指し、若い世代の転入者数を増やしていくことが今後のまちづくりにおいて重要な課題の一つとなります。

そのため、就職を控えている千葉敬愛短期大学の学生に「佐倉市に住みたいかどうか」、「佐倉市が若者に選ばれるまちとなるために必要なことは何か」を考えてもらい、平成32年度からの第5次佐倉市総合計画に反映していくことを目的に開催しました。

■実施日

平成30年12月18日（火）

■会場

千葉敬愛短期大学 管理棟3階 会議室

■佐倉市総合計画策定のための千葉敬愛短期大学の学生によるまちづくりワークショップの内容

参加していただいた千葉敬愛短期大学の学生（8名）を2グループに分け、「学校卒業後、佐倉市に住みたいですか」「佐倉市が若者に選ばれるまちとなるために必要なことは何ですか」というテーマに沿って、以下の進行で話し合いを行いました。

テーマ	内 容
佐倉市に住みたい と考えるかについて 意見交換	① 開会あいさつ
	② 担当課あいさつ（市の状況説明）
	③ ワークショップの進行説明
	④ 自己紹介
	⑤ カード記入 「卒業後、佐倉市に住みたい・住みたくないとする理由」
	⑥ カード読み上げ、カード並べ（グループ化）、自由討論
佐倉市が若者に選 ばれるまちとなるた めに必要なことにつ いての意見交換	⑦ カード記入 「佐倉市が若者に選ばれるまちとなるために必要なこと」
	⑧ カード読み上げ、カード並べ（グループ化）、自由討論
	⑨ 発表（1グループ5分×2グループ）
	⑩ まとめ、閉会あいさつ

【ワークショップの手法】

ご参加いただいた皆様から可能な限りのご意見をいただくため、ワークショップ方式にて行いました。

■ ワークショップの基本的な流れ

① カード記入

与えられたテーマについて、自分の意見、思いをカード（付せん）に記入します。



② カード並べ

グループごとに、みんなが書いたカードを模造紙上に並べ、同じような内容のものを集めたり、全体の関係性を話し合ったりしながら、分類・とりまとめ方法を考えます。



③ 成果のとりまとめ

色マジックなどを活用しながら、分類したカード群に見出し（タイトル）をつけたり、補足説明を書いたりし、みんなの意見を模造紙上で整理し、とりまとめ、最後にグループごとに発表します。

※これをテーマごとに行います。

【意見要旨】

A 班

佐倉市に住みたい理由として、治安が良い、地域交流が盛んなどの意見が挙げられた一方、佐倉市に住みたくない理由としては、買い物や食事をする場所などの商業施設が充実していない、交通の便が悪いなどの意見が多く挙げられました。また、佐倉市について良く知らず、判断することができないとの意見も散見されました。

佐倉市が若者に選ばれるまちとなるために必要なこととしては、商業施設の充実や情報発信が重要との意見が多く、具体的には、気軽に立ち寄れる商業施設やカラオケボックスがあると良い、個人経営のお店を SNS などで紹介することや、市の PR に芸能人を積極的に活用したほうが良いなど、若者ならではの提案が多く見られました。また、利便性の向上や市内外への情報発信だけでなく、地元愛を深める必要があるという提案も挙げられました。

カードに記入された意見（要旨）

■ 学校卒業後、佐倉市に住みたい・住みたくないと考える理由

① 佐倉市に住みたいと考える理由

1. 治安が良い 3 件

- ・治安が良く、子育て世代に安心
- ・治安が良さそうで安心
- ・住宅地が多く、誰かが見ているという安心感がある

2. 地域交流が盛ん（行事等を通じての交流） 2 件

3. 住みやすい 2 件

- ・土地代や家賃が安い
- ・高齢者に優しい

4. 町並みがきれい 2 件

② 佐倉市に住みたくないと考える理由

1. 商業施設が少ない 6 件

- ・買い物をするところがない 4 件
- ・駅の周りが寂しい 2 件

2. 交通の便が悪い 5 件

- ・交通の便が悪い 3 件
- ・成田の方が行きやすい
- ・電車の本数が少ない

3. 情報が入手しづらい 3 件

- ・具体的に何があるか分からない
- ・イベント情報がよくわからない
- ・駅や学校から歩いていけるような場所を知らない

4. 治安が悪い 2件

- ・夜、道が暗く、歩くのが怖い 2件

■ 佐倉市が若者に選ばれるまちとなるために必要なこと

1. 商業施設の充実 7件

- ・学校や仕事帰りなどに立ち寄れる商業施設を建てる 2件
- ・飲食店を充実させる
- ・夜遅くまで開いているお店を増やす
- ・駅前にカラオケボックスをつくる
- ・コンビニの数を増やす（学校の周辺にはない）
- ・家族連れで行ける場所を増やす

2. 佐倉市の PR 6件

- ・佐倉市のご飯屋さんが参加できるイベントを増やす
- ・個人経営の個性あるお店を建てやすくして、SNSなどで呼び込む
- ・芸能人を活用する 2件
- ・佐倉市のマップを多くの人に渡す
- ・見たくなる HP を作成する（最初のホーム画面の改善）

3. 観光客誘致の取組み 3件

- ・観光スポットをつくる
- ・季節に合った装飾を飾る
- ・Free-Wi-Fi を設置，スマホを充電できる場所をつくる

4. 防犯対策 3件

- ・街路灯を増やす 2件
- ・夜の見守りボランティアを募集する

5. 郷土愛の醸成 2件

- ・地元愛が強くなるような地域間交流の充実
- ・「佐倉と言えば」と他市に誇れるものをつくる

6. その他

- ・ユーカリモルールの IC 対応

B班

佐倉市に住みたい理由として、高速道路のインターがあり交通の便が良い、学校や幼稚園、保育園が多く住みやすいなどの意見が挙げられた一方、佐倉市に住みたくない理由としては、飲食店が少ない、学生が遊べる場所がない、お店が駅から遠いなど商業施設が充実していない、有名な場所がなく市外に誇れる場所がない、働く環境が充実していないなどの意見が多く挙げられました。

佐倉市が若者に選ばれるまちとなるために必要なこととしては、情報発信、商業施設の充実、働く環境の充実が重要との意見が多く、具体的には、歴史マニアをターゲットにした PR やイケメン俳優やゆるキャラの活用した PR が有効、駅前にカラオケや漫画喫茶など若者が集えるお店を充実したほうが良いなど、若者ならではの提案が多く見られました。また、保育士の処遇改善に関する意見も挙げられています。

カードに記入された意見（要旨）

■ 学校卒業後、佐倉市に住みたい・住みたくないと考える理由

① 佐倉市に住みたいと考える理由

1. 交通の便が良い 3件

- ・高速道路があり、東京に行きやすい
- ・交通の便が良い（高速道路等）
- ・高速道路や電車の特急が停車するなど、交通アクセスは割と良い

2. 住みやすい 3件

- ・保育園が多く、子育てしやすい
- ・学校がたくさんある（小学校・高等学校）
- ・家賃が安い

3. お店が多い 2件

- ・佐倉駅の周辺にお店がたくさんある 2件

4. その他

- ・歴博がある
- ・公園が多い
- ・成田にも千葉市にも近い

② 佐倉市に住みたくないと考える理由

1. 商業施設が少ない 7件

- ・お店が比較的駅から遠い
- ・飲食店が少ない
- ・栄えているところと田舎の差が激しい
- ・佐倉駅周辺にはお店があるが、物井駅周辺にはお店がない 3件
- ・学生が遊べる場がない

2.他市に誇れる場所がない 4件

- ・有名な場所がない
- ・観光地がなさそう
- ・ライブやコンサートなどが開催されない
- ・あまり有名ではない

3.働く環境が充実していない 3件

- ・働く場所が少ない 2件
- ・保育士の家賃補助がない

4.その他 3件

- ・千葉市にも成田市にも近く、他市を選択しやすい
- ・歴博が駅から遠い
- ・若者がいるイメージがない

■ 佐倉市が若者に選ばれるまちとなるために必要なこと

1. 佐倉市の PR 12件

- ・歴史マニアにアピール
- ・刀剣をたくさん飾る
- ・佐倉の祭りを PR する
- ・ゆるキャラを有名にする 2件
- ・佐倉市のポスターを貼る 3件
- ・町並みを佐原みたいにする
- ・佐倉市でコンサートを開催する
- ・花火の打ち上げ数を増やす
- ・イケメン俳優を活用し、まちをアピール

2. 商業施設の充実 9件

- ・駅をきれいにして駅前を栄えさせる、派手にする 2件
- ・Free-Wi-Fiの整備
- ・駅の近くにお店をつくる（ゲームセンター、カラオケ、漫画喫茶、飲食店、コンビニ） 5件
- ・学生が遊べる場所を増やす

3.働く環境の充実

- ・働きやすい環境をつくる
- ・住宅手当を付ける
- ・給料を上げる

4.その他

- ・有名な飲食店をつくる
- ・佐倉市に就職したら返済が免除される奨学金制度を考案する
- ・デザイナーズマンションなど、若者が住みたくなる場所をつくる
- ・宿泊できるところをつくる

【 総括 】

今回のワークショップでは、佐倉市の 20 代の人口減少を改善することを目的に、若者に選ばれるまちとなるために必要なことについての提案をいただきました。

結果としては、気軽に入れる飲食店やカラオケボックスなどの商業施設や、Free-Wi-Fi が使える場所の拡充など、利便性を重要視している学生が多いことがわかりました。また、おしゃれなお店や佐倉ならではの町並みを整備するなど、愛着につながる「その町らしさ」を魅力と感ずるという声も聞かれました。

そしてイベントの開催や有名人を活用した市の PR を提案する学生も多くなりましたが、佐倉市のイベントや佐倉親善大使をそもそも知らないという学生が多く、若者に対する情報発信の必要性・重要性を改めて認識しました。